

# あじさい 129号

## 平成29年度定期総会開催！



7月1日(土) 原爆資料館ホールにて平成29年度定期総会が開催され、本人、会員、職員、来賓など313名が参加しました。



藤田匠美さん



江林徹さん



後藤泰さん



松川勇人さん

今年は「私のチャレンジ」というテーマで本人の意見発表が行われました。育成会佐賀大会で長崎県代表として発表にチャレンジする藤田さん、グループホームでの生活にチャレンジを始めた江林さん、後藤さん、サテライト型住居を経てひとり暮らしにチャレンジしている松川さんが登壇し、緊張しながらも堂々と発表を行い、会場からは大きな拍手が送られました。



総会の最後には育成会の本人部会FICSが主催する「ひとり暮らしの勉強会」の案内が行われ、メンバー全員が会場に向けて参加の呼びかけをしました。

### もくじ

- 育成会定期総会報告
- 育成会 ing
- FICS主催  
「一人暮らしの勉強会」報告
- 家族支援ワークショップ報告
- お知らせ



# 平成29年度定期総会開催

7月1日（土）13：30より、原爆資料館ホールにて、「～本人を中心に置いたインクルーシブ地域生活を求めて～」をテーマに平成29年度定期総会が開催され、313名の本人や会員、職員が参加しました。



今年は社会福祉法人制度改正により定款の変更や組織編成が見直され、第13期の役員と評議員の改選があり、理事長よりそれぞれのご紹介がありました。

りました。

新理事会より、私が第13期理事長に選任されました。ご支援よろしくお願いたします。

制度改正により法人内の実際の仕事をしている人たちが理事になります。また、評議員会は法人の決定機関となり、これまでの理事会の役割を担います。これまで会員の代表で選出されていた評議員の代わりに、会員さんの意見発信の場として運営協議会を発足させ委員として会員の皆様に登場していただくことにしました。

この夏に西北町2棟目のアパート型グループホーム建設のための国庫補助金申請の結果が出る予定です。男女3名ずつで、3階建て、一室がワンルームタイプです。1階には世話人も配置し、食事のお世話や金銭管理など必要な支援をしていくように考えています。短期入所も1部屋置きます。平成30年4月開所の予定です

※理事長総会あいさつより抜粋

理事長あいさつに続いて、寺田事務長より法人本部事業報告等、長島理事より啓発事業報告等及び決算報告がありました。今年も、本人さん向けに分かりやすい事業や会計報告の資料を作成しました。



第13期役員 of 皆さん

## 第4次地域福祉5か年計画

育成会地域福祉5か年計画の第3次計画の総括と来年度よりスタートする第4次計画について谷理事長より説明がありました。

第4次地域福祉5か年計画は平成30年4月より平成35年3月を期間とし、「本人を中心においたインクルーシブ地域生活」を基本姿勢として、地域、家族、福祉という3つの支えで本人が地域で安心、安全に暮らせるしくみの構築を目指すものです。具体的には療育活動やB型事業等の充実や、相談支援事業の確立、グループホームの数的充実や自立訓練棟の設置、支援体制の確立と充実などを挙げられました。“地域とつなぐ”“仲間とつなぐ”“専門家とつなぐ”“安心とつなぐ”“を目標に育成会地域支援システムの構築を目指しますと力強く述べられました。

### 第13期役員

任期：平成29年6月10日～

理事長：谷 美絵

理事：長島 志津代

中込 重秋 立山 雅也

田坂 喜朗 寺田 隆二

任期：平成29年4月1日～

甲田 裕 相川 勝代

小方 猛 桑野 嘉典

源城 和雄 椎木 恭二

富野 哲哉

### 運営協議会

吉井 政光 森 孝美

沼口 紀子 山口 真理

中尾 健二 上田 小夜香

田崎 昭正

# 私のチャレンジ

総会の締めくくりとして、今年は「私のチャレンジ」というテーマで、育成会九州大会で長崎県代表として発表にチャレンジする藤田匠美さん、そして、それぞれグループホームやひとり暮らしにチャレンジしている江林徹さん、後藤泰さん、松川勇人さんの4名が意見発表を行いました。

《私の言いたいこと》藤田 匠美(長崎大学教育学部総務課勤務)



附属特別支援学校高等部を卒業後に家を離れて生活された藤田さんは、自分に自信が持てなかった経験を振り返り、「支援をする人は皆のペースを見て待ってほしい。」「心穏やかに暮らしたい。」と語られました。さんらいずの就労移行支援事業の利用を経て、現在は長崎大学教育学部の用務員の補助の仕事をしており、「仕事が遅い。」と言われたというお話が信じられないほど、要領よく仕事をされる様子が紹介されました。



《私の選択～ホームで暮らす～》江林 徹(あじさいの家)

昨年開設されたケアホームさくらに入居された江林さんは写真を見ながら質問に一言ずつしっかり答えてくださいました。お母様の江林ヨシ子さんは、「まだ早いかと悩んだが、通っているあじさいの家の敷地内にありショートステイでも慣れていたので、今しかないと思い切りました。親亡き後も今と同じように支援してほしい。」と述べられました。あじさいの家では本人の自己決定を助けるために、いろいろな工夫をされているそうです。江林さんは、「好きなパンはどちらですか?」という質問に、2つの写真からメロンパンを選ばれていました。



《私の選択～ホームで暮らす～》後藤 泰(陽香里工房)

後藤さんはお母様が亡くなられた後も、親せきやヘルパーの支援を受けながら一人でご実家にお住まいでしたが、家の老朽化により自宅での生活が難しくなり、陽香里の職員や相談支援員の勧めでグループホーム城山台の入居体験を経て入居を決められました。「家がいい。」



と言われていた後藤さんの気持ちの変化や、入居に至るまでの働きかけについて担当の小杉愛子相談支援専門員からもお話をお聞きし、後藤さんのために周囲の支援者が親身になって動かれた様子が伝わりました。

《私の選択～一人で暮らす～》松川 勇人(就労移行A型ベーカリーあすなろ)

グループホームはやま、アパートでのサテライト型住居を経て、この春ひとり暮らしを始められた松川さんにはひとり暮らしの様子や現在の心境などについて話していただきました。お金の管理は長崎県福祉安心サポートセンターに手伝ってもらっているそうです。育成会グループホームの主任でグループホームはやまの世話人中鶴昭彦さんが、ひとり暮らしに至るまでにどのような支援をされたのかについて話をしてくださいました。困ったとき周囲に助けを求められることができることや精神的なたくましさがある松川さんだからこそひとり暮らしができると思われたそうです。



3人の皆さんがここに至るまでには、周囲の支援者の方々が「これが本人のためだから…」と自分たちの想いを押し付けるのではなく、ご本人が自分で選べるように体験することを大切にされていることが感じられました。ずっと自宅で暮らしたとしかない人に家以外の選択肢がないのはある意味当然です。「これは本人の意思だから…」と諦めず、本人の思いも大事にしながら根気強い声掛けでご本人が安心して安全に暮らせる方法を考えてくださっていることに、親としては安心感を覚えました。また、言葉で「こっちがいい」と言えなくても、絵や写真など、本人が理解しやすい方法を使い本人の思いを見極めたり、表情や行動から思いを受け取ろうと努力されている支援員の皆さんの姿勢に感動しました。

今回は時間の都合で質疑応答の時間が取れませんでしたでしたが、来年の総会にはさらにたくさんの方に来ていただけるような内容にしたいと思います。ぜひ足をお運びいただき、ご意見をお聞かせください。



育成会の総会では、例年会員さんに司会をお願いしています。今年は田崎美由紀さんが司会を務められました。



今年もさんらいずのお菓子、ワークあじさいの野菜や花の苗、みどりと陽香里工房の手作り品などの販売が行われ、休憩ごとにたくさんの方が買いに来られ賑わっていました。

### みんなの声

#### 総会アンケートより

##### 【総会全体について】

- ・話が難しかった。(本人さん10人)
- ・時間が長かった。(5人)
- ・待ち時間が長かった(3人)
- ・開催時間に対して集合時間が早い
- ・開催日は今のままで良い
- ・開催日は土日祝日が良い
- ・今年のはたまたま晴れたが梅雨時でない開催はできないのかな?
- ・駐車場のあるところが良い
- ・観光客(外人)が間違っって会場に入ってこられた。
- ・GH入所への経過の話がよかった。
- ・サテライト型支援事業の話がよかった。
- ・式典と事業報告の時間を短縮して「私のチャレンジ」をもう少し聞きたかった。
- ・「私のチャレンジ」はそれぞれの選択が具体的に発表されて参考になった。
- ・本人主体の総会で良かった。
- グループホームも体験してから決めても良いと思えた。
- ・子どもが自分の思いを選択できるようにしたいと思った。
- 保護者の参加が少ない。
- ・第3次計画などの説明がよく分かった。
- ・親亡き後のことは不安はあるがあとは本人の慣れだと思った。

##### 【育成会へのご意見・ご要望】

- ・頼りになる育成会と改めて感じた。
- ・親も少しずつ勉強しないといけないと思った。
- ・これからの育成会の方向性がよく分かった。
- ・毎年感じるが、障がいのある方には時間が長すぎる。
- ・育成会は施設・通所ともに専門性が高く温かいフォローがあり感謝している。
- ・南部にグループホームを作ってほしい(4人)。
- ・親亡き後の事を考えて努力してくださり感謝。
- ・本人活動(スポーツ等)を増やしてほしい。

# 育成会ing

## 広報あじさいがカラーで読めます！

7月より最新号までの広報紙「あじさい」（1年分）がホームページよりご覧いただけるようになりました。「長崎市手をつなぐ育成会」で検索していただければ、育成会のホームページを見ることができます。ホームページの右側に並んでいる「あじさい」と書かれたバナーをクリック（右の図）していただければ、広報あじさいのページに進むことができます。そこに6号分の広報紙が並んでいますので、読みたい号をクリックすれば1ページから順に見ることができます。白黒でしかご覧いただけなかった写真もカラーでより鮮明に見いただけますので、ぜひ一度ご覧ください。



## ボウリング大会を秋に開催します！

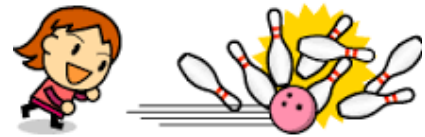
毎年、新春ボウリング大会として2月に開催していた育成会のボウリング大会ですが、スポーツの秋にふさわしく今年は11月に開催することになりました。自分で集合解散しやすいということで会場はラッキーボウルになります。参加者全員に参加賞と成績上位者には賞品、プービー賞や抽選で選ばれた方にも賞品がありますよ。ぜひご参加ください。

日 時：平成29年11月5日（日）10：00

場 所：ラッキーボウル（大橋町）

参加費：900円（2ゲーム+シューズ代）

お申し込みなど、詳しくは9月末発行の広報あじさい130号でお知らせします。お楽しみに！



## 今年の育成会運動会はアリーナあぶとがにて開催！

今年の育成会運動会は県立総合体育館アリーナあぶとがに（油木町）のメインアリーナで開催されます。場所が変わったことで綱引きも復活！昨年の競技をアレンジした会員・事業所対抗仮装リレーなどもありますよ。本人だけでなく会員参加の競技もあります。賞品を用意してお待ちしています！詳しくは8ページのお知らせをご覧ください8/28までにお申し込みください。



FICS主催

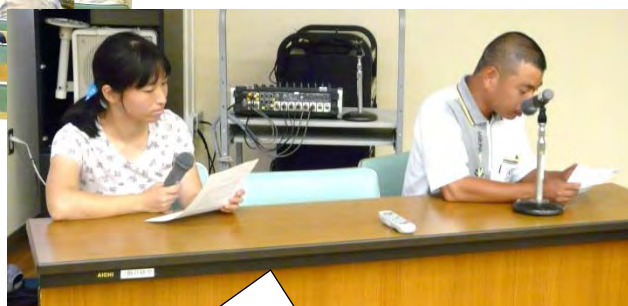
## ひとり暮らしの勉強会

長崎市育成会の本人部会F I C Sでは年に8回ほど集まって自分たちで決めたテーマに沿って話し合いをしたり、ハイキングやクリスマス会などのイベントを開催して親睦を図ったりしています。最近では他法人の本人会と交流する機会も増えてきました。また、「みんなで知る見るプログラム研修会」を開催し参加することで、いろいろな人の考えに触れ、「ひとり暮らし」など、自分の夢を語る方も増えてきました。しかしながら知らないことから来る不安も多く、「自分には無理」という声もきかれます。そこでF I C Sでグループホームのことやひとり暮らしについて知るために勉強会を開くことにし、誰を呼



んでどんな話を聞きたいか話し合いを行い、7月16日(日)ハートセンター2F研修室において「ひとり暮らしの勉強会」を開催しました。

F I C Sメンバーを始め本人24名、保護者7名、その他支援者など38名が集まり、関心の高さを感じました。最初にグループホームの主任でグループホームはやまの世話人でもある中鶴昭彦さんにホームでの生活について話してもらいました。会場のホームで暮らしている人にも質問しながら説明されたので、より分かりやすく身近な話に感じました。また、ひとり暮らしを目指す人にとってのステップとなるサテライト型住居の話もあり、ホームと同様に家賃補助を受けながらひとり暮らしの準備ができる制度の存在に、みなさん心強く感じられたようでした。



この春からひとり暮らしを始めた松川勇人さんに、F I C Sメンバーの村岡さんがインタビューをして、ひとり暮らしのようすをいろいろと聞きました。

後半はグループホームからサテライト型住居を経て、4月よりひとり暮らしを始められた松川勇人さんにお話を聞きました。総会でも発表された松川さんは、緊張しながらもご自分のひとり暮らしの様子や仕事の事、余暇の過ごし方などを話されました。会場からは中鶴さんや松川さんにたくさんの質問が上がりました。

Q:「お金のやりくりはどうしていますか？」

A:「自分で考えて使います。社会福祉協議会の人に毎月確認してもらってます。」

Q:「さんらいずの就労移行にいる時、就労するためにどんなことを頑張りましたか？」

A:「かまぼこ屋さんの作業で洗い物をしたり、汚れが残ってないかのチェックを頑張りました。」

Q:「結婚は考えていますか？」

A:「今はわかりません。」

Q:「家賃はいくらですか？」

A:「3万円です。」



参加された本人さんやご家族も熱心に話を聞かれ、活発に質問をしていただきました。主催したF I C Sメンバーも開催できた達成感を感じることができたようです。

# 長崎市育成会「家族支援ワークショップ」開催

全国手をつなぐ育成会では、障害のある人への支援だけでなく、親自身や健全なきょうだいへの支援も視野に入れて、家族全体を支えるための基盤作りとして「家族支援プロジェクト」を開発しました。これまで長崎市育成会では会員向けのワークショップや県育成会の特別支援学校や事業所、施設育成会などに向けたワークショップのお手伝いをしてきましたが、今年度は、もっと多くの人に知ってもらうために長崎市独自の活動を決め、市内の小中学校にも案内を配布し、長崎市のファシリテーターで「家族支援ワークショップ（学齢期の保護者対象）」を開催しました。

1回目は「家族にも支援は必要です」というテーマで行い、16名が参加しました。保護者だけでなく支援者の方も興味を持って参加していただきました。



点検ワーク「親子関係チェックシート」を使って、身体的距離・心理的距離について考えてみました。



ワークショップ終了後も名残惜しそうにお話をされる方もいらっしゃって、自分の思いを伝える場の必要性を感じました。

親子の心理的距離を見る「親子関係チェックシート」では“尽くし型”“かじ取り型”“完全主義型”など親のタイプが分かるようになっており、それが発表されると「ああ」という声やため息を漏らす方もいらっしゃいました。これは長年の経験と積み重ねから生まれる癖のようなものなので、あってはならないものではないけれど、この癖に縛られすぎると子どもの自立がうまくいかなることがあるという説明に、みなさん真剣な顔で聞いていらっしゃいました。

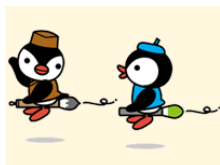
最後に「回転木馬のワーク」という輪になってプチ自慢をするというワークを、参加者全員で行いました。「力自慢」「料理自慢」「家族自慢」など、みなさん笑顔で自慢を行いましたが、中にはプチとは言えないような自慢の方もいらっしゃって、「すごい！」と感嘆の声が上がりました。

## 参加者からの感想

- ・専門書やインターネットでも学ぶことは出来ませんが、生のお話を聞くことで頭の中にとっと入ってくる事が出来ました。(保護者)
- ・障害を持つ子どもの親は悩みや不安を抱え込むことが多い。きついときは話をできる環境が必要だと感じました。(教員)
- ・毎日を何も考えずに過ごしていました。気づくことが大事なのだと思います。物事のとりえ方の勉強になりました。(保護者)

# おしらせ

## 習字



日時:第4土曜日

時間:午後1時~

場所:ハートセンター社会適応訓練室

会費:1回 500円

社会福祉法人  
 長崎市手をつなぐ育成会 広報部  
 長崎市茂里町2-41  
 長崎障害福祉センター内  
 TEL&FAX : 095-847-1290  
 E-mail tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

## フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30~

場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室 会費:1回1300円



## お楽しみ倶楽部

日時:8月20日(日) 内容:絵手紙 300円(材料代・飲み物代含む)

日時:9月17日(日) 内容:バドミントン 300円(景品・飲み物代含む)

集合:ハートセンター1Fロビー 13時~15時

※今年度より人数把握のためにお申し込みをお願いします。

お申込み、お問い合わせはハートセンター事務局まで。

ハートセンター事務局 ☎847-1290

お楽しみ倶楽部会費についてのお知らせ!  
 今年度から年会費はいただきず、毎回実費をご負担いただくような方法に変更させていただきます。ご面倒をおかけしますがご理解、ご協力よろしくお祈いします。

## 会員定例会

8月の定例会21日(月) 10:00~12:00

「親として知っておいてもらいたいこと」



我が子を取り巻く人たちに知っておいてもらいたいこととは?

9月の定例会12日(火) 13:00~15:00

お申し込みはタイムケア事務局 ☎893-6096

(茂里町電停前ローソン2F)



## 第42回育成会運動会開催

期日:9月18日(月・祝日)

時間:9:30~15:30 (9:40整列)

場所:県立体育館(アリーナかぶとがに)

油木町7-1 ☎843-6521

申込み:参加を希望される方は8月28(月)までに

ハートセンター事務局へ☎095-847-1290

場所が違うので  
間違わないで下さいね。

